

令和6年度 都城市立夏尾小学校 学校評価①

夏尾小 no.1

【4段階評価 A(4)=そう思う B(3)=だいたいそう思う C(2)=あまりそう思わない D(1)=そう思わない】

○ 学力の向上

| 重点目標 | 目標達成のための努力実践事項 | 学校の自己評価コメント (○●は職員の考察、◇◆は児童・保護者アンケートから) | 自己評定 | 関係評定 | 学校関係者コメント |
|---|---------------------------|---|------|------|---|
| ◎ 児童の学力向上と職員の授業力向上に努める。 | 校内研究で「ICTを活用した授業改善」に取り組む。 | ○A・B評価(職員100%) ○児童も教師も一人一台端末を進んで活用し授業を進めることができる。 ○根拠をもって自分の意見や考えを表現する力の育成に重点を置き、相互的な学習の時間や生活科の時間を中心に授業改善に取り組んできた。 ◇A・B評価(児童96% 保護者84%) | 3.5 | | ○ ICTを低学年から授業に活用し、遠方の学校との交流や学習に活かされている。 ○ 子どもたちのタブレット学習がすごい。 ○ キュビナの第1回Q-1グランプリでQ-1マスターズになるなど力を付けている。 ○ これからも少人数の良さを生かして欲しい。 |
| ◎ 学習内容の確実な定着を図り、学力テスト等で全国平均を上回る。 | 授業の中で習熟の時間やまとめる時間を設定する。 | ○A・B評価(職員100%) ○全学調(6年)平均正答率、全国比 国語…+20.3 算数…+14.6 ○隔週で「マスタータイム」を設定し、読解力を高める「αドリル」を中心に全校で取り組んでいる。 ◇A・B評価(児童100% 保護者84%) ◆単元テストの早い返却を希望する。子どもの学力向上のためにもその都度把握していきたい。 | 3.4 | 3.4 | 3.9 |
| ◎ 年間全校平均図書貸出冊数100冊以上を達成し、児童が読書に親しんでいると実感できるようにする。 | 学びの礎となる読書活動を推進する。 | ○A・B評価(職員100%) ○読書週間の設定や図書館センターとの連携によるイベントの開催、くれよん号の利用促進、ボランティアによる読み聞かせを実施している。 ●現在の児童貸出冊数は40冊強である。(1~3年平均は約87冊) ◇A・B評価(児童81% 保護者89%) | 3.2 | | ●タブレットも大事だが、紙に書いたり、辞書を引いたりする活動を大切にして欲しい。 |
| ◎ 家庭学習の習慣化を図る。 | 家庭学習の習慣化に向け保護者の協力を得る。 | ○A・B評価(職員100%) ○家庭学習がんばり週間やタブレット持ち帰り等の取組を行っている。多くの児童が家庭学習をきちんと行っている。 ◇A・B評価(児童93% 保護者95%) ◆宿題プリントは家庭で丸付け、やり直しをして提出しているが、学校で保管されているのだろうか。 | 3.5 | | |

《課題と改善点》

- ICT活用能力が高まっている。複式指導の中で、児童が主体的に学習を進められるように授業改善と研修を深める必要がある。
- 家庭での学習や読書の習慣化について、検討する必要がある。

令和6年度 都城市立夏尾小学校 学校評価②

夏尾小 no.2

【4段階評価 A(4)=そう思う B(3)=だいたいそう思う C(2)=あまりそう思わない D(1)=そう思わない】

○ 豊かな心の育成

| 重点目標 | 目標達成のための努力実践事項 | 学校の自己評価コメント (○●は職員の考察、◇◆は児童・保護者アンケートから) | 自己評定 | 関係者評定 | 学校関係者コメント |
|---------------------------|---------------------------------|--|------|-------|---|
| ◎ 全児童が「学校が楽しい」と言えるようにする。 | 思いやりの心や温かい人間関係の醸成に努める。 | ○A・B評価(職員100%) ○管理職や養護教諭を含めた全職員で教育相談を行い、いじめ不登校対策委員会で、情報交換や共通理解を図っている。いじめ認知件数0。 ○道徳や学級活動を通した指導を行うだけでなく、日常指導に各先生方が連携を図りながら取り組んでいる。 ◇A・B評価(児童96% 保護者89%) ◇児童が夏尾小の良さとして「下級生から上級生まで仲が良い」「みんな優しい」ことなどを挙げている。 | 3.5 | | ○毎朝、ボランティア活動に取り組む児童の様子を見ている。あいさつも元気に自ら行ってくれる。 ○各児童が、夏尾小は恵まれていることを自覚させられると良い。 ○外の世界に出たときに、物怖じせず、自信をもって力を発揮して欲しい。 |
| ◎ 自信をもって人生を生き抜く基礎力を育てる。 | 児童の自己肯定感を高める活動や環境を整備する。 | ○A・B評価(職員100%) ○全校帰りの会で、お互いの良いところを伝え合う場を設定している。 ◇A・B評価(児童100% 保護者89%) ◇児童が夏尾小の良さとして「人数が少ない分、一人一人が主役になれる」と活躍の場があることなどを挙げている。 | 3.6 | 3.4 | 3.9 ○スクールカウンセラーが導入されて良かった。活用がもっと図られると良い。 ○挨拶は大事。 |
| ◎ 気持ちのよい挨拶や返事ができる児童を育成する。 | 集会や日頃の指導で、挨拶や返事について児童への意識付けを行う。 | ○A・B評価(職員100%) ○登校後の職員室へ挨拶が習慣化している。また、正門横での小中合同の挨拶運動だけでなく、計画委員会が企画したあいさつ運動にも主体的に取り組んでいる。 ◇A・B評価(児童100% 保護者84%) | 3.3 | | |
| ◎ 児童のボランティア精神を培う。 | 身近な環境整備など、自らできることを実践するよう働きかける。 | ○A・B評価(職員100%) ○登校後、上級生が下級生をリードしながら、砂利道の目立てや落ち葉掃きなどのボランティア活動に主体的に取り組んでいる。 ◇A・B評価(児童85% 保護者95%) | 3.3 | | |

《課題と改善点》

- 全職員による教育相談や、児童同士の良さを認め合う全校帰りの会など、豊かな心の育成に効果のある取組を継続していく。
- 計画委員会企画のあいさつ運動など主体的な取組を称賛することで、児童の自発的な活動を促していく。
- 挨拶とともに返事の指導にも力を入れていく。

令和6年度 都城市立夏尾小学校 学校評価③

夏尾小 no.3

【4段階評価 A(4)=そう思う B(3)=だいたいそう思う C(2)=あまりそう思わない D(1)=そう思わない】

○ 健康・安全

| 重点目標 | 目標達成のための努力実践事項 | 学校の自己評価コメント (○●は職員の考察、◇◆は児童・保護者アンケートから) | 自己評定 | 関係者評定 | 学校関係者コメント |
|----------------------------------|--|--|------|-------|--|
| ◎ 児童一人ひとりの体力向上に努め、学校平均を県平均に近づける。 | 体力向上プランに基づき、体育の時間の運動量の確保と体力向上のための指導を継続して行う。 | ○A・B 評価(職員80%) ○体育学習では、小規模の良さを生かし運動量が確保されている。また、全学年合同で実施することで系統的に学習できる。 ○体力テストA判定5名であった。 ●5・6年生が朝の会で取り組んでいる「元気もりもり体操」を他の学年にも広げていきたい。 ◇A・B 評価(児童81% 保護者84%) | 3.4 | | ○体力をつけさせて欲しい。体を思いっきり動かせると良い。そうすれば早く寝ることができるのでないか。 ○早く寝られない原因が、テレビからスマホに移ってきてているのではないか。 ○ スマホとの使い方については、親がお手本になると良い。(寝る前や食事中に触らないなど。) |
| | 毎日の健康チェックと早寝・早起き・朝ごはん、健康・安全・食育について家庭との連携を図る。 | ○A・B 評価(職員100%) ○毎日の健康チェックや定期的な保健だよりや食育だより、お弁当の日の取組等を通じて家庭との連携を図っている。 ○学校保健委員会で「親子ヨガ」に取り組み、家庭へ啓発した。 ◇A・B 評価(児童89% 保護者74%) | 3.2 | 3.4 | 3.7 |
| | 避難訓練を充実させ、定期的な安全点検や児童への安全指導を確実に行う。 | ○A・B 評価(職員100%) ○噴火・地震・不審者・火災に対応する避難訓練を行い、非常時の対応の在り方を確認している。噴火対応の避難訓練では、御池自然の池の方に説明を頂いた後に、保護者への引き渡し訓練を実施した。 ○年度当初の地震の際にも、自ら身を守る行動ができていた。 ○児童の事故防止のために、樹木の伐採や掲揚台の修理を早期に対応し、完了した。 ◇A・B 評価(児童100% 保護者95%) ◆災害(噴火、台風、地震等)時の地形の特徴を含め、夏尾小へ向かうルート確認を保護者も防災士などから学ぶ時間があるとよい。 | 3.6 | | |

《課題と改善点》

- 本年度作成したスクールスポーツプランに基づいた体育学習を進める。
- 5・6年生が朝の会で取り組んでいる「元気もりもり体操」を他学年にも広げる。

令和6年度 都城市立夏尾小学校 学校評価④

夏尾小 no.4

【4段階評価 A(4)=そう思う B(3)=だいたいそう思う C(2)=あまりそう思わない D(1)=そう思わない】

○ ふるさと教育

| 重点目標 | 目標達成のための努力実践事項 | 学校の自己評価コメント (○●は職員の考察、◇◆は児童・保護者アンケートから) | 自己評定 | 関係評定 | 学校関係者コメント |
|---------------------------------|--|--|------|------|---|
| ◎ 夏尾らしさを生かして、魅力ある学校づくりをめざす。 | 地域の素材や人材を使った体験学習を工夫し、地域の方とふれあえる場を位置づける。 | ○A・B 評価(職員100%) ○オープンスクールや体験事業を通じて、地域の方々と交流の機会を設けることができた。 ◇A・B 評価(児童100% 保護者95%) ◇児童が夏尾小の良さとして「自然が豊かである」「地域の方と交流できる機会がたくさんある」「地域の方や保護者と活動できる」ことを挙げている。 ◇地域の方にもお世話になり、素晴らしい教育をしていただいている | 3.8 | | ○行事には地域の方も多き参加して、子ども達も楽しに参加している。 ○大人との交流が多いのは他の学校にはない魅力である。 ○運動会や文化祭での子ども達の奴踊り披露や生演奏が良かった。 ○披露の場が増えても良い。 ○心豊かに育って欲しい。 ○OHPは全国6番目に始めており、伝統がる。 |
| ◎ 伝統芸能『奴踊り』を継承する。 | 発表の場で、児童が自信をもって踊れるように練習指導を行う。 | ○A・B 評価(職員100%) ○運動会や、御池やまびこ祭、西岳地区ふれあい文化祭で奴踊りを披露することができた。三味線の演奏に保護者の有志が参加するなど、伝統芸能を継承する体制ができている。 ◇A・B 評価(児童100% 保護者95%) | 3.7 | 3.9 | |
| ◎ コミュニティ・スクールとして、より良い学校づくりをめざす。 | 学校からの情報発信に努めるとともに、学校運営協議会をはじめ、地域の方や保護者の意見を聞く場を大切にする。 | ○A・B 評価(職員100%) ○学校便りや学級通信、ホームページを通して、学校の取組や子どもたちの様子を可能な限り発信してきた。 ◇A・B 評価(児童100% 保護者84%) | 3.6 | | |

《課題と改善点》

- 引き続き、地域の豊かな環境や人材、歴史や文化等を活かした教育活動を行うとともに、その取組を積極的に発信していく。